秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農林業構造統計

2025 年農林業センサス
農林業経営体調査票
（2025 年 2 月 1 日現在）

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。
政府統計


マスコットキャラクター
「つっちー」

	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号
基本指標番号						
修正がある場合						

お知らせ

- この調査は、報告する義務があるとても重要な調査です。ご協力をお願いいたします。
- この調査票は、統計の作成目的以外には使用せず、得られた個々の結果についても、外に漏らしたり課税などの資料に利用することはなく、秘密を厳守することが法律により定められていますので、ありのままをご記入ください。
- 調査票は、パソコンやスマートフォン、タブレットでも回答できます。
  詳しい回答方法は、「オンライン調査ガイド」をご覧ください。

SAMPLE

記入方法

- 記入は、別冊『記入の仕方』を見ながらご記入ください。
- 該当しない項目は空欄としてください。
- 黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

マークの記入例

○「良い例」のように、濃くはっきりなぞってください。

良い例 ✔　悪い例 ○ ／

数字の記入例

○１マスに１つずつ枠からはみ出さないように右づめで記入してください。
○マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

		1	2	3

1	2	3	4	5

記入していただく調査項目について

- 本調査票については、農業又は林業を経営しておられる方に記入していただくものです。記入に当たっては、以下の区分にしたがって、必要な項目に記入をお願いします。

区　　分	記入していただく項目
農業のみを経営しておられる方	【１】～【９】、【15】
林業のみを経営しておられる方	【１】～【２】、【10】～【15】
農業と林業の両方を経営しておられる方	【１】～【15】

【１】経営体の概要　すべての方が記入する項目です。

１　経営形態

経営形態について、該当するもの**１つに必ず記入**してください。

	法人でない		法人である									地方公共団体・財産区
	個人経営（世帯）	任意団体	農事組合法人	会社				各種団体			その他の法人	
				株式会社	合名・合資会社	合同会社	相互会社	農協	森林組合	その他の各種団体		
101	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

○ 特例有限会社は株式会社に該当します。
○ 法人番号を活用した統計の精度向上及び効率化の取組に使用させていただきます。
○ 個人のマイナンバー（12 桁）を誤って記入しないようにご注意ください。

	法人番号（13 桁）
102	

次ページ【２】経営主へ

２　世帯の状況（個人経営の方のみ）

（1）世帯としての所得は、自営農業と自営農業以外の仕事でどちらが多いですか。該当するものに**必ず記入**してください。

	103
自営農業による所得が多い	✓
自営農業以外の所得が多い（不動産による所得は含み、年金は含まない。）	✓

○ 林業による所得が多い方は、「自営農業以外の所得が多い」に記入してください。

（2）すべての世帯員の人数を記入してください。（農業又は林業に従事していない人も含みます。）

		男（人）		女（人）			男（人）		女（人）	
14 歳以下（H22.2 生以降）	107			108		50～54 歳（S45.2～S50.1 生）	123		124	
15～19 歳（H17.2～H22.1 生）	109			110		55～59 歳（S40.2～S45.1 生）	125		126	
20～24 歳（H12.2～H17.1 生）	111			112		60～64 歳（S35.2～S40.1 生）	127		128	
25～29 歳（H7.2～H12.1 生）	113			114		65～69 歳（S30.2～S35.1 生）	129		130	
30～34 歳（H2.2～H7.1 生）	115			116		70～74 歳（S25.2～S30.1 生）	131		132	
35～39 歳（S60.2～H2.1 生）	117			118		75～79 歳（S20.2～S25.1 生）	133		134	
40～44 歳（S55.2～S60.1 生）	119			120		80 歳以上（S20.1 生以前）	135		136	
45～49 歳（S50.2～S55.1 生）	121			122						

SAMPLE

【２】経営主　すべての方が記入する項目です。

１　経営主の性別と出生年月を記入してください。

141	142			143	144
性別	出生の年月				
男	女	大正	昭和	平成	年	月
✓	✓	✓	✓	✓		

２　当該経営は「自ら開始した」と「経営を引き継いだ」のどちらですか。また、開始または引き継いで経営主となってからの年数は何年ですか。
それぞれ該当するもの**１つに必ず記入**してください。

	145
自ら開始した	✓
経営を引き継いだ	✓

	146
１年未満	✓
１～４年	✓
５～９年	✓
10 年以上	✓

○「自ら開始した」とは、新規参入や独立をいい、法人化などの組織形態の変更は含みません。

３　過去１年間に経営主が農作業及び林業作業に従事した日数（管理労働を含む。）について、それぞれ該当するもの**１つに必ず記入**してください。

			1～29日	30～59日	60～99日	100～149日	150～199日	200～249日	250日以上	従事していない
両方記入	農作業に従事した日数	147	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	林業作業に従事した日数	148	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

○ 従事した日数には、経理事務などの管理労働も含みます。
○ 従事した日数は、1日を8時間 として計算してください。
（例） 1日4時間ずつ → 2日で1日分
毎日1時間ずつ → 8日で1日分

４　過去１年間の経営主の主な状況について該当するもの**１つに必ず記入**してください。

個人経営の方が記入する項目です。	149
仕事を主にしていた	
主に自営**農業**を行った※	✓
主に自営**林業**を行った※	✓
主に**農業・林業以外**の自営業を行った	✓
主に他に勤務した※	✓
主に学生（研修を含む。）であった	✓
主に家事・育児・その他であった	✓

個人経営以外の方が記入する項目です。	150
主に**農業**に従事	✓
主に**林業**に従事	✓
主に**農業・林業以外**の事業に従事	✓

※個人経営の場合、他に雇われて主に農業（林業）を行った場合は、「主に他に勤務した」に記入してください。

５　農業経営及び林業経営を引き継ぐ後継者（予定を含む。）を確保していますか。また、５年以内に後継者に引き継ぐ意向はありますか（後継者の確保の有無に関わらず意向を記入してください。）。
なお、農業又は林業のいずれかを経営していない場合は、「経営していない」のみに記入してください。

		151 農業	152 林業
１つに必ず	確保している：親族	✓	✓
	確保している：親族以外の経営内部の人材	✓	✓
	確保している：経営外部の人材	✓	✓
	確保していない（できていない）	✓	✓
１つに必ず	５年以内に後継者に引き継ぐ意向がある	✓	✓
	５年以内に後継者に引き継ぐ意向がない	✓	✓
	経営していない	✓	✓

○「親族」とは、経営主の3親等内の親族をいいます。（同居か別居か、また、現に経営に参画しているかは問いません。）
○「親族以外の経営内部の人材」とは、親族以外で当該経営の役員・構成員及び雇用者をいいます。
○「経営外部の人材」とは、上記以外の方をいいます。

SAMPLE

【３】農業の労働力（経営主を除く。）　農業を行っている方が記入する項目です。

１　農作業（管理労働を含む。）に従事した人数（農業生産関連事業のみに従事した人は含めません。）

過去１年間に農作業に従事した人（経営主を除く。）の実人数を記入してください。
（それぞれの人数を記入した上で、２～５についても記入してください。）

○「経営内部の労働力」とは、個人経営の場合は満 15 歳以上の世帯員、会社等法人の場合は役員、任意団体の場合は構成員をいいます。ただし、役員会に出席するだけの者や１日も従事しなかった者は含めません。

		男（人）	女（人）
経営内部の労働力（経営主を除く。）	202		203
雇用労働力　常雇い（農作業のために７か月以上の契約で雇った人）	205		206
雇用労働力　臨時雇い（日雇、季節雇、手伝い、研修生など）	208		209
雇用労働力　そのうち、１か月以上の契約で雇った人	211		212

→ 個人経営の方は２、個人経営以外の方は３も記入
→ ４に内訳も記入　５に従事日数の合計も記入
→ ５に従事日数の合計も記入

２　経営内部の労働力の詳細（個人経営の方のみ）

上記「１　農作業（管理労働を含む。）に従事した人数」の「経営内部の労働力(202 及び 203)」に人数を記載した世帯員について、１人ずつ以下に記入してください。

※1「従事した日数」には、１日を８時間として計算してください。
（例）1日4時間ずつ → 2日で1日分

※2「方針決定」は、以下をいいます。
・生産品目、飼養畜種の選定
・規模、出荷先の決定
・機械・施設などへの投資、資金調達
・農地借入、農作業受託の決定
・雇用の決定、管理

【続柄番号】
01:配偶者　04:父母　07:祖父母
02:子　05:配偶者の父母　08:孫
03:子の配偶者　06:兄弟姉妹　09:孫の配偶者
10:その他

	213	214		215			216	217	218							219					220
	経営主との続柄	性別		出生の年月					過去１年間で農作業に従事した日数(管理労働を含む。) ※1							過去１年間の主な状況					経営主とともに農作業の方針決定に関わっている※2
	続柄番号を記入	男	女	大正	昭和	平成	年	月	1～29日	30～59日	60～99日	100～149日	150～199日	200～249日	250日以上	仕事を主にしていた 主に自営農業を行った	仕事を主にしていた 主に農業以外の自営業を行った	仕事を主にしていた 主に他に勤務した	主に学生（研修を含む。）であった	主に家事・育児・その他であった	
1		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
2		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
3		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
4		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
5		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
6		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
7		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

８人以上いる場合は 19 ページに続きを記入してください。

SAMPLE

3　経営内部の労働力の詳細（個人経営以外の方のみ）

（1）４ページ「1　農作業（管理労働を含む。）に従事した人数」の「経営内部の労働力(202 及び 203)」に人数を記載した**役員・構成員**のうち、**農作業に 60 日以上従事した方**について、1 人ずつ以下に記入してください。

※「従事した日数」には、
１日を８時間として計算してください。
（例）1日4時間ずつ
→ 2日で1日分

	221	222			223	224	225					226	
	性別	出生の年月					過去１年間で農作業に従事した日数（管理労働を含む。）※					過去１年間の主な状況	
	男	女	大正	昭和	平成	年	月	60～99日	100～149日	150～199日	200～249日	250日以上	主に農業に従事	主に農業以外の事業に従事
1	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
2	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
3	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
4	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
5	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
6	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
7	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
8	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
9	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
10	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
11	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
12	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
13	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
14	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
15	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
16	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
17	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
18	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
19	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
20	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

	221	222			223	224	225					226	
	性別	出生の年月					過去１年間で農作業に従事した日数（管理労働を含む。）※					過去１年間の主な状況	
	男	女	大正	昭和	平成	年	月	60～99日	100～149日	150～199日	200～249日	250日以上	主に農業に従事	主に農業以外の事業に従事
21	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
22	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
23	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
24	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
25	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
26	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
27	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
28	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
29	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
30	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
31	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
32	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
33	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
34	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
35	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
36	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
37	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
38	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
39	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
40	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

SAMPLE

41 人以上いる場合は 20 ページに続きを記入してください。

（2）(1)に記入した方以外で、過去 1 年間に**農作業の従事日数が 60 日未満の方**について、実人数を記入してください。ただし、役員会に出席するだけの者や 1 日も従事しなかった者は含めません。

	男（人）		女（人）
228		229	

4　常雇いの詳細

４ページ「１　農作業（管理労働を含む。）に従事した人数」の「常雇い(205 及び 206)」に人数を記載した過去１年間に農作業のために常雇いした人（あらかじめ**７か月以上の契約で雇った人**）について、男女・年齢別に実人数を記入してください。

		男（人）		女（人）			男（人）		女（人）
15～19 歳（H17.2～H22.1 生）	233		234		50～54 歳（S45.2～S50.1 生）	247		248	
20～24 歳（H12.2～H17.1 生）	235		236		55～59 歳（S40.2～S45.1 生）	249		250	
25～29 歳（H7.2～H12.1 生）	237		238		60～64 歳（S35.2～S40.1 生）	251		252	
30～34 歳（H2.2～H7.1 生）	239		240		65～69 歳（S30.2～S35.1 生）	253		254	
35～39 歳（S60.2～H2.1 生）	241		242		70～74 歳（S25.2～S30.1 生）	255		256	
40～44 歳（S55.2～S60.1 生）	243		244		75～79 歳（S20.2～S25.1 生）	257		258	
45～49 歳（S50.2～S55.1 生）	245		246		80 歳以上（S20.1 生以前）	259		260	

5　雇用労働力の従事日数の合計

４ページ「１　農作業（管理労働を含む。）に従事した人数」で回答した雇用労働力の「常雇い(205 及び 206)」「臨時雇い(208 及び 209)」のそれぞれについて、従事日数の合計を記入してください。

		男（人日）		女（人日）
常雇いの方の従事日数の合計	262		263	
臨時雇いの方の従事日数の合計	265		266	

SAMPLE

【４】土地　農業を行っている方が記入する項目です。

耕地（田・畑・樹園地）

１　土地の状況を記入してください（土地登記簿上の地目や面積ではなく、現状の地目や面積を記入してください。また、居住地以外の市区町村にある土地も含みます。）。

		田 (ha)(a) (町)(反)(畝)		畑 (ha)(a) (町)(反)(畝)		樹園地 (ha)(a) (町)(反)(畝)	
経営している	271		275		279		
うち、所有している	272		276		280		
うち、借りている	273		277		281		
貸している	274		278		282		
経営している畑のうち、牧草専用地			283				

実質的に経営を任せている場合は「貸している」に記入してください。

原野化し、現状が耕地でないものは除きます。

耕地以外（山林・原野など）

２　山林･原野などの耕地以外の土地で過去１年間に採草地や放牧地として利用した土地面積を記入してください。

		(ha)(a) (町)(反)(畝)
耕地以外で利用した土地面積	284	

ハウス・ガラス室等

３　過去１年間に施設園芸に利用したハウス･ガラス室及び加温温室の**実面積**を、㎡単位で記入してください。

		(a)(㎡) (町)(反)(畝)
ハウス・ガラス室	285	
そのうち、加温温室	286	

○ ハウス･ガラス室とは、その中で普通の姿勢で作業できるものをいいます。

○ 水稲の育苗だけ、きのこの栽培だけに利用したものは除きます。

【５】農業生産　農業を行っている方が記入する項目です。

始めから販売を目的とせず、自給用に作付け（栽培）した面積は含めないでください。

稲　麦　雑穀　いも類　豆類　工芸農作物

１　過去１年間に販売を目的として作付け（栽培）した、稲、麦・雑穀・いも類・豆類・工芸農作物の品目のコード及び**延べ面積**を田畑別に記入してください。

品目コード

稲	水稲（食用）	： 101
	陸稲（食用）	： 102
	稲（飼料用）	： 103
麦	小麦	： 201
	二条大麦	： 202
	六条大麦	： 203
	裸麦	： 204
雑穀	そば	： 301
	その他の雑穀（あわ、きび、ひえ等）	： 302
いも類	食用ばれいしょ（加工用を含む。）	： 401
	原料用ばれいしょ（でんぷん用）	： 402
	食用かんしょ（加工用を含む。）	： 403
	原料用かんしょ（でんぷん用）	： 404
豆類	大豆	： 501
	小豆	： 502
	その他の豆類 ※1	： 503
工芸農作物	さとうきび	： 601
	なたね	： 602
	茶	： 603
	てんさい（ビート）	： 604
	こんにゃくいも	： 605
	その他の工芸農作物 ※2	： 606

	品目コード	田 (ha) (a) (町)(反)(畝)	畑 (ha) (a) (町)(反)(畝)
	291	292	293
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			
⑪			
⑫			

SAMPLE

※1　未成熟の豆類（「えだまめ」、「さやいんげん」、「さやえんどう」、「グリンピース」など）は「その他の豆類：503」に含めず、次のページの3の「その他の野菜：191」に記入してください。

※2「その他の工芸農作物」には、たばこ、いぐさ、ホップ、ごま、ラベンダー、薬用作物などの合計を記入してください。

花き・花木

２　過去１年間に販売を目的として作付け（栽培）した花き・花木の**延べ面積**を露地作、施設作ごとに記入してください。花き苗、花木苗を含みます。

		露地作延べ面積 (ha) (a) (町)(反)(畝)		施設作延べ面積 (ha) (a) (㎡) (町)(反)(畝)
花き	295		296	
花木	298		299	

花きの露地、施設面積がある方は、該当する品目すべてに記入してください。

切り花類	球根類	鉢もの類	花壇用苗もの類
300	301	302	303
✓	✓	✓	✓

野菜　果樹

3　過去１年間に販売を目的として作付け（栽培）した野菜・果樹類の品目のコード及び**延べ面積**を露地作、施設作ごとに記入してください。

品目コード

野菜			果樹	
根菜類	だいこん	：101	温州みかん	：201
	にんじん	：102	その他のかんきつ	：202
	さといも	：103	りんご	：203
	やまのいも（ながいもなど）	：104	ぶどう	：204
葉茎菜類	はくさい	：111	日本なし	：205
	キャベツ	：112	西洋なし	：206
	ほうれんそう	：113	もも	：207
	レタス	：114	おうとう（さくらんぼ）	：208
	ねぎ	：115	びわ	：209
	たまねぎ	：116	かき	：210
	ブロッコリー	：117	くり	：211
果菜類	きゅうり	：121	うめ	：212
	なす	：122	すもも	：213
	トマト	：123	キウイフルーツ	：214
	ピーマン	：124	パインアップル	：21
果実的野菜	いちご	：131	その他の果樹 ※2	：216
	メロン	：132		
	すいか	：		
その他の野菜 ※1		：		

品目コード	露地作延べ面積 (ha)(町) (a)(反) (畝)	施設作延べ面積 (ha)(町) (a)(反) (畝) (㎡)
304	305	306
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		

SAMPLE

※1「その他の野菜」には、「もやし」、「えだまめ」、「スイートコーン」、「ごぼう」、「にら」、「かぼちゃ」、「アスパラガス」など該当しなかった野菜の**合計**を記入してください。

※2「その他の果樹」には、「ブルーベリー」、「イチジク」、「ギンナン（イチョウ）」、「マンゴー」、「オリーブ」など該当しなかった果樹の**合計**を記入してください。

○　果樹類の面積には、未成園を含みます。

その他の作物

4　過去１年間に販売を目的として作付け（栽培）したその他の作物（１～３に該当しなかった作物）の**延べ面積**を露地作、施設作ごとに記入してください。

		露地作延べ面積 (ha)(町) (a)(反) (畝)		施設作延べ面積 (ha)(町) (a)(反) (畝) (㎡)	
その他の作物	308		309		

○　販売を目的として栽培した水稲苗、野菜苗、果樹苗、造林用の苗木、芝、稲以外の飼料用作物、青刈り作物など、どの欄にも該当しなかった作物の合計を記入してください。

家畜

5　現在、飼っている牛の頭数を目的別に記入してください。

				万	千	百	十	一 (頭)
総数			310					
搾乳目的	２歳（24 か月齢）以上		311					
搾乳目的	２歳（24 か月齢）未満		312					
販売目的	和牛などの肉用種	子取り用めす牛	313					
販売目的	和牛などの肉用種	肥育中の牛（肉用として販売）	314					
販売目的	和牛などの肉用種	売る予定の子牛など（種おすを含む。）	315					
販売目的	乳用種との交雑種	肥育中の牛（肉用として販売）	316					
販売目的	乳用種との交雑種	売る予定の子牛（肥育用もと牛として販売）	317					
販売目的	飼っている乳用種	肥育中の牛（肉用として販売）	318					
販売目的	飼っている乳用種	売る予定の子牛（肥育用もと牛として販売）	319					

○ 搾乳する予定のない子牛は、「売る予定の子牛（など）（315、317、319）」に種類ごとに記入してください。

6　現在、販売する予定で飼っている豚の頭数を記入してください。

		万	千	百	十	一 (頭)
子取り用めす豚	321					
肥育中の豚	322					

7　現在、卵の販売を目的として飼っている採卵鶏の羽数を記入してください(ひなどりを含みます。)。

		百万	十万	万	千	百	十	一 (羽)
採卵鶏	323							

8　過去１年間に出荷したブロイラーの羽数を記入してください。

		百万	十万	万	千	百	十	一 (羽)
ブロイラー	324							

SAMPLE

きのこ栽培・その他の農業

9　【5】の１から８以外で、販売を目的として、きのこの栽培やその他の農業経営を行っていますか。該当するものすべてに記入してください。

	きのこ栽培	馬の飼養	羊の飼養	やぎの飼養	地鶏の飼養	養蜂	養蚕	その他の農業経営
325	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

「その他の農業経営」を行っている場合は代表的な品目を記入してください。

326

○ 「その他の農業経営」は、7ページから本ページまでの内容以外のものがある場合に回答ください。

【６】過去１年間の農産物の販売　農業を行っている方が記入する項目です。

１　過去１年間の農産物の販売金額（売上高）について、該当するもの**１つに必ず記入**してください。

販売なし	331	✓
農産物の販売あり	50万円未満	✓
	50万～100万円未満	✓
	100万～300万円未満	✓
	300万～500万円未満	✓
	500万～1,000万円未満	✓
	1,000万～3,000万円未満	✓
	3,000万～5,000万円未満	✓
	5,000万～１億円未満	✓
	１億円以上	✓

販売金額には、売上金額を記入してください（肥料代、農薬代などの経費を引かない。）。

「1億円以上」の場合は、１億円単位で金額を記入してください。　332　（億円）

２　過去１年間の販売金額が上位３位までの部門について、該当順位に部門コードを記入し、合計に占める割合をそれぞれ記入してください。

		部門コード		割合（割）
１位部門	333		334	
２位部門	335		336	
３位部門	337		338	

部門コード

水稲・陸稲	：01	酪農	：10
麦類	：02	肉用牛	：11
雑穀・いも類・豆類	：03	養豚	：12
工芸農作物	：04	養鶏	：13
露地野菜	：05	養蚕	：14
施設野菜	：06	その他の畜産	：15
果樹類	：07		
花き・花木	：08		
その他の作物	：09		

３　過去１年間に農産物を販売したすべての出荷先を記入し、さらに売上１位の出荷先を記入してください。

		農協へ	農協以外の集出荷団体へ	卸売市場へ	小売業者へ	外食産業へ	食品製造業・消費者に直接販売 自営の農産物直売所へ	その他の農産物直売所へ	インターネットで	他の方法で	その他へ
		該当するすべてに									
出荷先		339 ✓	340 ✓	341 ✓	342 ✓	343 ✓	344 ✓	345 ✓	346 ✓	347 ✓	348 ✓
		うち売上１位の出荷先（１つに）									
第１位の出荷先	349	✓	✓	✓	✓	✓	✓				✓

○「消費者に直接販売へ」には、自ら生産した農産物またはそれを使用した加工品を消費者に販売しているものが該当します。

○「その他の農産物直売所へ」には、共同で運営している直売所または他の人が運営している直売所が該当します。

４　過去１年間に生産した**農産物を輸出している場合は該当するものすべてに記入**してください。また、輸出した農産物の販売金額又は数量を把握している場合は、上記１に記入した農産物の**販売金額に占める輸出向けの割合を記入**してください。なお、輸出していない場合は、「輸出していない」のみに記入してください。

					百	十	一	
輸出している	金額を把握している	350	✓	販売金額全体に占める輸出向けの割合	354			%
	金額は把握していないが数量を把握している	351	✓	販売金額全体に占める輸出向けの割合（※数量換算）	355			%
	金額と数量のどちらも把握していない	352	✓					
輸出していない		353	✓					

※金額は把握していないが数量を把握している場合、すべての販売数量に占める輸出向けの数量の割合から輸出向けの金額の割合に換算して記入してください。

輸出しているには、以下のような場合が該当します。
①自ら生産した農産物を、海外の卸売業者、レストラン、スーパーなどの小売業者や消費者等に直接出荷（輸出）した場合
②自ら生産した農産物を、輸出を目的として農業協同組合、貿易商社、卸売事業者等に出荷した場合
※輸出を目的としては出荷していなかったが、出荷先において輸出されたことを確認している場合も含む。

SAMPLE

【7】過去１年間の農作業の受託（請負）　農業を行っている方が記入する項目です。

1　過去１年間の農作業の受託（請負）による料金収入について、該当するもの**１つに必ず記入**してください。

受託料金収入なし	361	→ 12 ページ【8】農業生産関連事業へ
農作業の受託料金収入あり：50 万円未満		
50 万 ～ 100 万円未満		
100 万 ～ 300 万円未満		
300 万 ～ 500 万円未満		
500 万 ～ 1,000 万円未満		
1,000 万 ～ 3,000 万円未満		
3,000 万 ～ 5,000 万円未満		
5,000 万 ～ １億円未満		
１億円以上		

「1 億円以上」の場合は、１億円単位で金額を記入してください。　362　（億円）

2　過去１年間によそから受託した（請け負った）農作業**すべてに記入**してください。

該当するすべてに			
	水稲作	363	→ 下記３へ
	麦作	364	
	大豆作	365	
	野菜作	366	
	果樹作	367	
	飼料用作物作	368	
	さとうきび作	369	
	工芸農作物作（さとうきびを除く。）	370	
	その他の作物作	371	
	畜産	372	
	酪農ヘルパー	373	

→ 12 ページ【8】農業生産関連事業へ

SAMPLE

○ 受託料金収入には、農作業とともに、実質的に「経営自体」を引き受けている場合は含めないでください。また、その場合は、6ページ【4】土地の１の「うち、借りている」に含めて記入します。

3　水稲作作業で、過去１年間に、よそから受託した（請け負った）作業の**実面積**について、作業ごとに受託した面積と、一括して受託した面積に分けて記入してください。

			(ha) (町)	(a) (反)	(畝)
作業ごとに受託	育苗	374			
	耕起・代かき	375			
	田植	376			
	防除	377			
	稲刈り・脱穀	378			
	乾燥・調製	379			
すべての水稲作作業を一括して受託		380			

【8】農業生産関連事業　農業を行っている方が記入する項目です。

農業生産関連事業とは、自ら経営していて、①自家で生産した農産物を使用、②所有または借り入れている耕地もしくは農業施設を利用している、のいずれかに該当する事業を行う場合をいいます。
例えば、農産物の加工、小売業、観光農園、貸農園・体験農園、農家民宿、農家レストラン、再生可能エネルギー発電などが該当します。

1　過去１年間の農業生産関連事業の売上金額の合計について、該当するもの１つに必ず記入し、売上金額がある方は、行っている事業すべてに合計に占める割合を記入してください。

		391
農業生産関連事業の売上あり	100 万円未満	
	100 万 ～ 500 万円未満	
	500 万 ～ 1,000 万円未満	
	1,000 万 ～ 5,000 万円未満	
	5,000 万 ～ １億円未満	
	１億 ～ 10 億円未満	
	10 億円以上	
売　上　な　し		

		割合（割）
農産物の加工	392	
小売業	393	
観光農園	394	
貸農園・体験農園など	395	
農家民宿	396	
農家レストラン	397	
再生可能エネルギー発電	398	
その他	399	

「その他」の売上がある場合は、具体的な事業を記入してください。　400

SAMPLE

2　過去１年間に農業生産関連事業で生産した農産物加工品等を輸出している場合は該当するものすべてに記入してください。また、輸出した農産物加工品等の売上金額又は数量を把握している場合は、上記１に記入した農業生産関連事業の売上金額に占める輸出向けの割合を記入してください。なお、輸出していない場合は、「輸出していない」のみに記入してください。

				百 十 一
輸出している	金額を把握している	401	売上金額全体に占める輸出向けの割合	405 　%
	金額は把握していないが数量を把握している	402	売上金額全体に占める輸出向けの割合（※数量換算）	406 　%
	金額と数量のどちらも把握していない	403		
輸出していない		404		

※金額は把握していないが数量を把握している場合、すべての売上数量に占める輸出向けの数量の割合から輸出向けの金額の割合に換算して記入してください。

輸出しているには、以下のような場合が該当します。
①自ら経営している農業生産関連事業で生産した農産物加工品などを、海外の卸売業者、レストラン、スーパーなどの小売業者や消費者等に直接出荷（輸出）した場合
②自ら経営している農業生産関連事業で生産した農産物加工品などを、輸出を目的として農業協同組合、貿易商社、卸売事業者等に出荷した場合
※輸出を目的としては出荷していなかったが、出荷先において輸出されたことを確認している場合も含む。

3　過去１年間に農業生産関連事業（管理労働を含む。）へ従事した人（経営主を含む。）について、実人数を記入してください。また、そのうち農作業（管理労働を含む。）にも従事した人の実人数を記入してください。

			男（人）		女（人）		うち、農作業にも従事した人	男（人）		女（人）	
経営内部の労働力（経営主、個人経営の世帯員、会社等の役員、任意団体の構成員等）		408		409			420		421		
雇用労働力	常雇い（農業生産関連事業のために７か月以上の契約で雇った人）	411		412			423		424		
	臨時雇い（日雇、季節雇、手伝い、研修生など）	414		415			426		427		
	そのうち、１か月以上の契約で雇った人	417		418			429		430		

【９】農業経営の特徴的な取組　農業を行っている方が記入する項目です。

１　農業経営について青色申告を行っていますか。該当するもの**１つに必ず記入**してください。

		441
行っている	正規の簿記	
	簡易簿記	
	現金主義	
行っていない		

○「正規の簿記」とは、損益計算書と貸借対照表が導き出せる組織的な簿記の方式（一般的には複式簿記をいいます（青色申告特別控除額：最高 65 万円））。
○「簡易簿記」とは、「正規の簿記」以外の簡易な帳簿による記帳（青色申告特別控除額：最高 10 万円）をいいます。
○「現金主義」とは、現金主義による所得計算の特例を受けているものをいいます（青色申告特別控除額：最高 10 万円）。
○　経営を法人化し青色申告を行っている場合は、「正規の簿記」に記入してください。

２　有機農業について記入してください。

（1）有機農業に取り組んでいますか。
（自給用に作付け（栽培）した場合も含めます。）

		442
取り組んでいる	有機ＪＡＳ認証を受けている	
	有機ＪＡＳ認証を受けていない	
取り組んでいない		

「有機農業」とは、化学的に合成された肥料及び農薬の両方を使用しない農業のことで、有機 JAS の認証を受けてない場合でも「有機農業」に該当します。
なお、以下の取組については有機農業に該当しません。
・化学的に合成された肥料及び農薬を使用した「減化学肥料栽培」、「減農薬栽培」
・化学的に合成された肥料を含む「有機入り化成肥料」や「有機配合肥料」を使用した場合

（2）有機農業に取り組んでいる場合、有機農業に取り組んでいる耕地の**実面積**を記入してください。
（自給用に作付け（栽培）した面積も含めてください。）

		(ha)(町)	(a)(反)	(a)(畝)
有機農業に取り組んでいる耕地の実面積	443			
うち、牧草地の面積	444			

有機農業に取り組んでいる耕地の実面積は、二期作や二毛作もあることから、
(3)の品目ごとの作付け(栽培)延べ面積の合計と必ずしも一致しなくても構いません。

（3）有機農業に取り組んでいる場合、過去１年間に販売を目的として作付け（栽培）した品目ごとの**延べ面積**を記入してください。

		(ha)(町)	(a)(反)	(a)(畝)
水稲を作付けた面積	445			
大豆を作付けた面積	446			
茶を栽培した面積	447			
野菜を作付けた延べ面積	448			
果樹を栽培した面積	449			
その他の作物を作付けた延べ面積	450			

始めから販売を目的とせず、自給用に作付け(栽培)した面積は含めないでください。

SAMPLE

3　効率的かつ効果的な農業経営を行うためにデータ（気象情報、市況、生産履歴、生育状況などの情報（紙媒体、電子媒体ともに含みます。））を活用していますか。その際、どのようにデータを活用していますか。該当するものすべてに記入してください。

	451
気象・市況等のデータを見て農業をしている	✓
農作業履歴等のデータをパソコン等で記録している	✓
機器やセンサーを用いて生育状況等のデータを計測・取得して分析している	✓
データ分析を活用した営農上のサービスやサポートを利用している	✓
上記のいずれも行っていない	✓

○「気象・市況等のデータを見て農業をしている」とは、新聞、スマートフォン、パソコンなどを用いて気象、市況などのデータを見て、農業経営の参考に活用することをいいます。

○「農作業履歴等のデータをパソコン等で記録している」とは、スマートフォン、パソコンなどを用いて農作業履歴や経営管理などのデータを記録（農機や機器からの自動入力も含む。）することをいいます。

○「機器やセンサーを用いて生育状況等のデータを計測・取得して分析している」とは、土壌分析、センサー、ドローンなどを用いてほ場環境や生育状況などのデータを計測・取得し、分析することをいいます。

○「データ分析を活用した営農上のサービスやサポートを利用している」とは、①営農データや土壌・生育データなどの収集・分析サービスを利用すること、②可変施肥・農薬ピンポイント散布などのデータ分析に基づく営農代行サービスを利用すること、③普及指導員・営農指導員などからデータに基づいた指導（土壌診断に基づく施肥設計など）を受けることなどをいいます。

農業のみを行っている方は 18 ページ
【15】都道府県設定項目へ

SAMPLE

【10】山林及び林業作業　林業を行っている方が記入する項目です。

1　山林について、面積を記入してください。

		(ha) (町)	(反)	(a) (畝)
所有している山林	501			
そのうち、貸している山林	502			
借りている山林	503			
保有山林（501−502+503）	504			

○「所有している山林」とは、実際に所有している山林をいいます。

○「そのうち、貸している山林」には、
・自分の土地を他人に分収させている山林
・他人が地上権を設定した山林
・貸借契約によって他人が使用収益している山林
を含めます。

なお、森林経営受委託契約又はこれに類する契約に基づき経営を委託している山林（経営管理権や経営管理実施権が設定された山林を含む。）は、所有者の保有山林に該当しますので、「そのうち、貸している山林」には含めないでください。

○「借りている山林」には、
・他人の土地に分収している山林
・他人の土地に地上権を設定した山林
・貸借契約によって自分が使用収益している山林
を含めます。

○「保有山林」とは、自らが林業経営に利用できる（使用している。）山林をいいます。

2　保有山林のうち、期間を定めて一連の作業（管理を含む。）を一括して他に任せている山林面積を記入してください。

		(ha) (町)	(反)	(a) (畝)
任せている山林	505			

○林業経営を委託している面積のことです。
例えば、森林経営受委託契約等を締結して、委託先が森林経営計画を作成している場合は、契約期間内の施業が1回だけであっても、「任せている山林」に含めます。
○他人が地上権等を設定している山林や作業ごとに委託（請け負わせ）している山林の面積は含みません。
○委託された林業経営の再委託は、「任せている」には該当しません（この場合は、最初の委託者だけが任せている山林面積を記入します。）。

3　保有山林以外で、期間を定めて一連の作業（管理を含む。）を一括して他から任されている山林面積を記入してください。

		(ha) (町)	(反)	(a) (畝)
任されている山林	506			

○林業経営を受託している面積のことです。
例えば、森林経営受委託契約等を締結して、受託者が森林経営計画を作成している場合は、契約期間内の施業が1回だけであっても、「任されている山林」に含めます。
○地上権等を設定している山林や作業ごとに受託（請負）している山林の面積は含みません。
○委託された林業経営を他に再委託した場合、その面積は含めません（この場合は、再委託先である最終の受託者だけが任されている山林面積を記入します。）。

4　保有山林における過去５年間の林業作業について該当するものすべてに記入し、過去１年間の実作業面積を記入してください（委託した（請け負わせた）作業を含みます。）。

		過去５年間の作業		過去１年間の実作業面積 (ha) (町)	(反)	(a) (畝)
植林	507	✓	508			
下刈りなど	509	✓	510			
間伐 切捨間伐	511	✓	512			
間伐 利用間伐	513	✓	514			
主伐	515	✓	516			

○「下刈りなど」には、枝打ち、つる切り、除伐、倒木起こしなどを含みます。
○ 実作業面積のため、1ha の山林に対して、下刈りを2度行った場合でも1haと記入してください。
○ 「間伐及び主伐」には、立木で販売したものは含みません。

SAMPLE

5　保有山林において、過去１年間に立木販売した実面積を記入してください。

		(ha) (町)	(反)	(a) (畝)
立木販売した面積	517			
そのうち、主伐	518			

○ まだ伐採されていないものも含め、過去１年間に立木で販売する契約をした面積を記入してください。

【11】素材生産　林業を行っている方が記入する項目です。

素材生産には間伐のうち素材として利用したものも含みます。

1　保有山林において、自ら伐採した過去１年間の素材生産量を記入してください。

		(㎥) 万	千	百	十	一
素材生産量	521					

2　受託（請負）もしくは立木買いによる過去１年間の素材生産量を記入してください。

		(㎥) 万	千	百	十	一
素材生産量	522					
うち、立木買いによるもの	523					

【12】林業の労働力（経営主を除く。）　林業を行っている方が記入する項目です。

1　林業作業（管理労働を含む。）に従事した人数

過去１年間に林業作業に従事した人（**経営主を除く。**）の実人数を記入し、常雇い又は臨時雇いした人のうち、150 日以上林業労働に従事した人の実人数を記入してください。

※「経営内部の労働力」とは個人経営の場合は満 15 歳以上の世帯員、会社等法人の場合は役員、山林の共同保有者等を指します。ただし、役員会に出席するだけの者や１日も従事しなかった者は含めません。

			男（人）		女（人）	
経営内部の労働力（**経営主を除く。**）		532		533		→ ２に内訳を記入
雇用労働力	常雇い（**林業作業のために７か月以上の契約**で雇った人）	535		536		→ ３に内訳を記入
	臨時雇い（日雇、季節雇、手伝い、研修生など）	538		539		
	そのうち、**１か月以上の契約**で雇った人	541		542		

		（人）
常雇い又は臨時雇いのうち、150 日以上林業労働に従事した人	543	

2　経営内部の労働力の詳細

上記「１　林業作業（管理労働を含む。）に従事した人数」の「経営内部の労働力（532 及び 533）」に記載した個人経営の**世帯員**、**会社等の役員**（代理を委任された者を含む。）、**山林の共同保有者**について、男女・従事日数別に実人数を記入してください。

		男（人）		女（人）			男（人）		女（人）	
１～29 日	547			548		150～199 日	555		556	
30～59 日	549			550		200～249 日	557		558	
60～99 日	551			552		250 日以上	559		560	
100～149 日	553			554						

○ 従事した日数には、経理事務などの管理労働も含みます。
○ 従事した日数は、1日を8時間 として計算してください。
（例） 1日4時間ずつ → 2日で1日分
毎日1時間ずつ → 8日で1日分

SAMPLE

3　常雇いの詳細

上記「１　林業作業（管理労働を含む。）に従事した人数」の「常雇い（535 及び 536）」に記載した過去１年間に林業作業のために常雇いした人（あらかじめ**７か月以上の契約で雇った人**）について、男女・年齢別に人数を記入してください。

		男（人）		女（人）			男（人）		女（人）	
15～19 歳（H17.2～H22.1 生）	564			565		50～54 歳（S45.2～S50.1 生）	578		579	
20～24 歳（H12.2～H17.1 生）	566			567		55～59 歳（S40.2～S45.1 生）	580		581	
25～29 歳（H7.2～H12.1 生）	568			569		60～64 歳（S35.2～S40.1 生）	582		583	
30～34 歳（H2.2～H7.1 生）	570			571		65～69 歳（S30.2～S35.1 生）	584		585	
35～39 歳（S60.2～H2.1 生）	572			573		70～74 歳（S25.2～S30.1 生）	586		587	
40～44 歳（S55.2～S60.1 生）	574			575		75～79 歳（S20.2～S25.1 生）	588		589	
45～49 歳（S50.2～S55.1 生）	576			577		80 歳以上（S20.1 生以前）	590		591	

【13】過去１年間の林産物の販売　林業を行っている方が記入する項目です。

１　過去１年間の林産物の販売金額（売上高）について、該当するもの**１つに必ず記入**してください。

２　過去１年間の林産物の販売金額の合計に占める割合をそれぞれ記入してください。

	販売なし	592	✓
林産物の販売あり	50万円未満		✓
	50万 ～ 100万円未満		✓
	100万 ～ 300万円未満		✓
	300万 ～ 500万円未満		✓
	500万 ～ 1,000万円未満		✓
	1,000万 ～ 3,000万円未満		✓
	3,000万 ～ 5,000万円未満		✓
	5,000万 ～ １億円未満		✓
	１億円以上		✓

			割合（割）
用材	立木で販売	594	
用材	素材で販売	595	
	ほだ木用原木を販売	596	
	特用林産物を販売	597	
	その他	598	

○ 林産物の販売金額には栽培きのこ、造林用の苗木の販売額は含みません。

○ 木質バイオマス向けに販売した場合は、「その他」に該当します。

「１億円以上」の場合は、１億円単位で金額を記入してください。　593　（億円）

【14】過去１年間の林業作業の受託（請負）　林業を行っている方が記入する項目です。

１　過去１年間の林業作業の受託（立木買いによる素材生産を含む。）による料金収入について、該当するもの**１つに必ず記入**してください。

２　過去１年間の林業作業の受託料金収入の合計に占める割合をそれぞれ記入してください。

	受託料金収入なし	601	✓
林業作業の受託料金収入あり	50万円未満		✓
	50万 ～ 100万円未満		✓
	100万 ～ 300万円未満		✓
	300万 ～ 500万円未満		✓
	500万 ～ 1,000万円未満		✓
	1,000万 ～ 3,000万円未満		✓
	3,000万 ～ 5,000万円未満		✓
	5,000万 ～ １億円未満		✓
	１億円以上		✓

「１億円以上」の場合は、１億円単位で金額を記入してください。　602　（億円）

○ 立木を購入して素材等として販売した場合は、「素材等の売却額」と「立木の購入額」の差額を受託料金収入として記入してください。

			割合（割）
	造林・保育の受託	603	
	素材生産の受託	604	
	素材生産（立木買い）	605	

３　過去１年間によそから受託した（請け負った）林業作業の実面積を記入してください。

			（ha）（町）	（a）（反）	（畝）
	植林	606			
	下刈りなど	607			
間伐	切捨間伐	608			
間伐	利用間伐	609			
主伐	受託	610			
主伐	立木買い	611			

○ 他に再委託している面積は含みません。

SAMPLE

【15】都道府県設定項目

1　●●について記入してください。

	701					

2　●●について記入してください。

	702					

3　●●について記入してください。

	703					

4　●●について記入してください。

	704					

5　●●について記入してください。

	705					

SAMPLE

【３】農業の労働力（経営主を除く。）　農業を行っている方が記入する項目です。

２　経営内部の労働力の詳細（個人経営の方のみ）【続き】

４ページ「１　農作業（管理労働を含む。）に従事した人数」の「経営内部の労働力(202 及び 203)」に人数を記載した**世帯員**について、**４ページの記入欄が不足した場合に、８人目以降を**１人ずつ以下に記入してください。

※1「従事した日数」には、１日を８時間として計算してください。
（例）1日4時間ずつ → 2日で1日分

※2「方針決定」は、以下をいいます。
・生産品目、飼養畜種の選定
・規模、出荷先の決定
・機械・施設などへの投資、資金調達
・農地借入、農作業受託の決定
・雇用の決定、管理

【続柄番号】
01:配偶者　04:父母　07:祖父母
02:子　05:配偶者の父母　08:孫
03:子の配偶者　06:兄弟姉妹　09:孫の配偶者
10:その他

	213	214		215			216	217	218							219					220
	経営主との続柄	性別		出生の年月					過去１年間で農作業に従事した日数（管理労働を含む。）※1							過去１年間の主な状況					経営主とともに農作業の方針決定に関わっている※2
																仕事を主にしていた			主に学生（研修を含む。）であった	主に家事・育児・その他であった	
	続柄番号を記入	男	女	大正	昭和	平成	年	月	1～29日	30～59日	60～99日	100～149日	150～199日	200～249日	250日以上	主に自営農業を行った	主に農業以外の自営業を行った	主に他に勤務した			
8		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
9		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
10		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
11		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
12		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
13		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
14		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
15		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
16		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
17		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
18		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
19		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
20		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

SAMPLE

3　経営内部の労働力の詳細（個人経営以外の方のみ）【続き】

（1）４ページ「１　農作業（管理労働を含む。）に従事した人数」の「経営内部の労働力(202 及び 203)」に人数を記載した**役員・構成員**のうち、**農作業に 60 日以上従事した方**について、**５ページの記入欄が不足した場合に、41 人目以降を**１人ずつ以下に記入してください。

※「従事した日数」には、
１日を８時間として計算してください。
（例）1日4時間ずつ
→ 2日で1日分

	221	222			223		224		225					226	
	性別	出生の年月							過去１年間で農作業に従事した日数（管理労働を含む。）※					過去１年間の主な状況	
	男	女	大正	昭和	平成	年		月						主に農業に従事	主に農業以外の事業に従事
									60～99日	100～149日	150～199日	200～249日	250日以上		
41	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
42	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
43	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
44	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
45	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
46	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
47	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
48	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
49	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
50	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
51	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
52	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
53	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
54	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
55	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
56	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
57	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
58	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
59	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
60	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

	221	222			223		224		225					226	
	性別	出生の年月							過去１年間で農作業に従事した日数（管理労働を含む。）※					過去１年間の主な状況	
	男	女	大正	昭和	平成	年		月						主に農業に従事	主に農業以外の事業に従事
									60～99日	100～149日	150～199日	200～249日	250日以上		
61	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
62	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
63	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
64	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
65	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
66	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
67	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
68	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
69	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
70	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
71	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
72	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
73	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
74	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
75	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
76	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
77	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
78	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
79	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
80	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

SAMPLE

81 人以上いる場合は恐れいりますが、訪問した調査員から補助票を受け取り続きを記入してください。